

森とまちをつなぐ

こうべ森と木の プラットフォーム

詳細説明資料



主催：神戸市



こうべ森と木の プラットフォーム

森林とまちをつなぐ

地域の財産である森林を育み、
活用し、次世代へ繋いでいく。

公民共創の場。

現状と課題認識

大都市である一方で、市域の40%が森林となっています。
森林の大部分は広葉樹林等で、人工林は6%です。
森林の適切な管理と資源循環、その両輪の取組が必要です。



課題へのアプローチ

公民共創により 取組を加速化。 森林循環の仕組み を構築。

- 森林を適切に維持していくためには、保全の視点での管理だけではなく木材活用を含んだサイクルが重要です。ですが、これまでは、森林を育てることが中心で、木材活用にはほとんど関心が向けられてきませんでした。
- 一方、気候変動危機・脱炭素化、SDGs、サーキュラーエコノミーの観点から森林への関心も高まっており、森林と社会の関わりは多様になっています。また、市内の木材活用に関する事例も生まれつつあります。
- そこで、公民共創により、各主体の取組を加速化し、森林循環の仕組みを構築することを目指し、プラットフォームを立ち上げることとなりました。

神戸市の主な取組

地域の森林を育む

地域の森林を守り、育むため、森林所有者をサポート。森林整備のメリットと負担について、これまでの事業例や木材活用の可能性についても提案。

<取組>

森林所有者ワンストップ窓口/森林整備コーディネーター・木材コーディネーターの派遣 など

関わり創出

森林に関わる機会を創出し、森林を育み、森林循環に貢献する担い手育成を行う。新たな担い手となるプレイヤーの発掘・育成も行う。

<取組>

木材活用も想定した森林整備の発注/人材育成事業 など

ストック・流通支援

市内の製材・加工事業者等と連携し、森林整備等で発生した針葉樹、広葉樹の丸太や一次製材品のストック・流通支援、川上・川中・川下の情報交換を促進。

<取組>

ストックヤードの運営・在庫管理/トレーサビリティの確保/森林整備の伐採木の売却 など

木材を活かす

公共建築物、市内建築物、家具等へ、積極的に地域産材を活用。ただ使うだけでなく、森林の価値を高める木材活用に取り組む。

また、木材活用の担い手を育成する。

<取組>

伐採木情報の共有/木材活用に関する人材育成事業 など

プラットフォームとは？

地域の森林に関わる（または関わりたいと思う）方々が、
出会い、意見交換をする場。

多様な人たちが、出会い、知恵を絞り、
森林を育み・活かす取り組みが生まれることを目指しています。



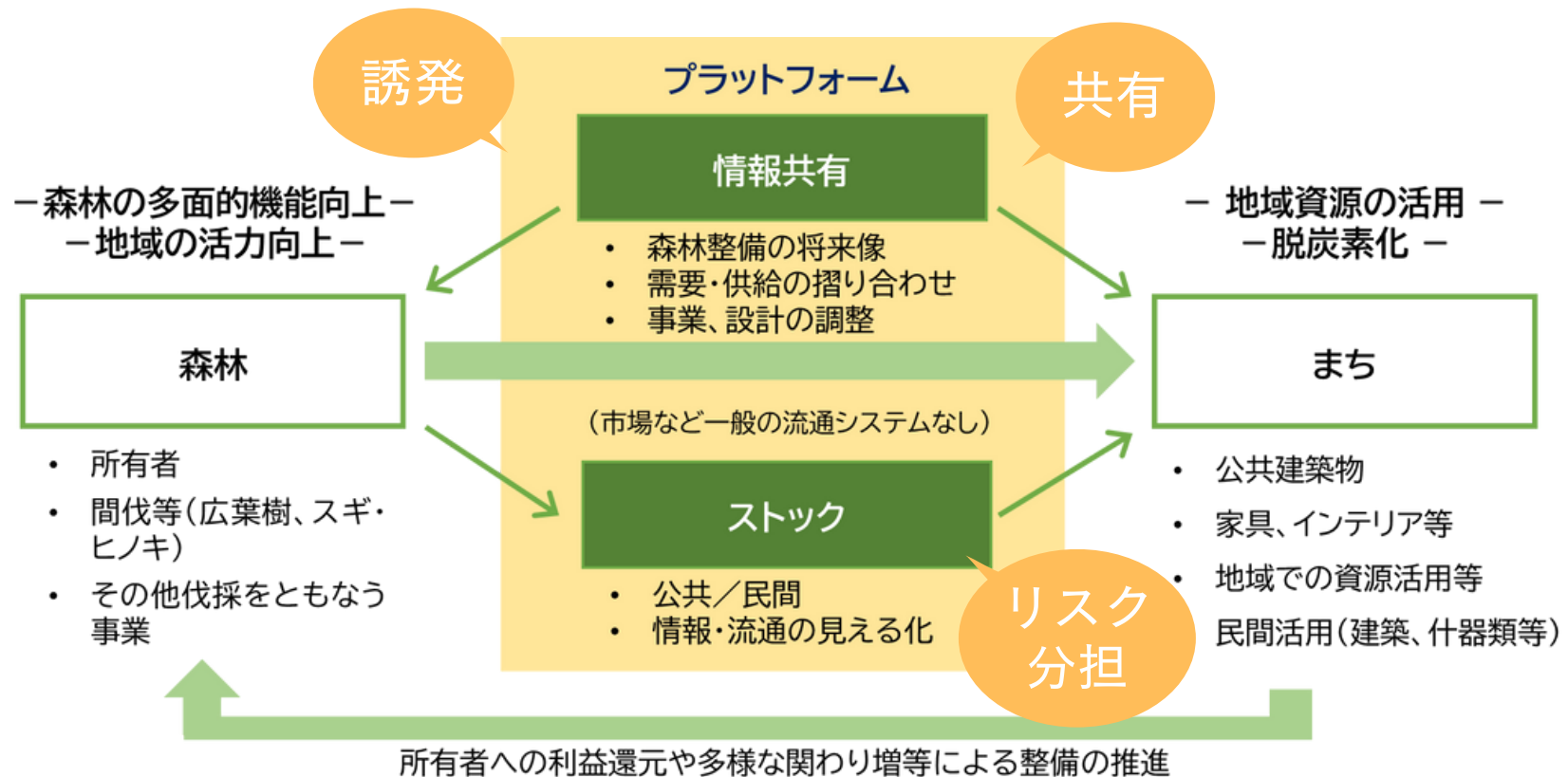
1st テーマ

森林とまちをつなぐ。
森林を地域で活かす。

こうべ森と木のプラットフォーム

まずは、3つの取組からスタート。

1. 神戸市の森林整備・伐採木等に関する情報を共有
2. 木材活用に関するリスクをステークホルダーで分散する仕組みを検討
3. 森林や木材活用に関わる新たな公民の活動を誘発



誰でも参画できるの？

趣旨に賛同いただけるプレイヤーの方は誰でも参画可能。

- 目的に賛同する個人又は団体は参画できます。
- 地域の森林循環に向けて、主体的に知恵を持ち寄っていただく森林整備や木材活用等に関わる担い手の方々にご参画いただきたいと考えています。
- 入会金・会費は無料です。
- 取組の中で、便益が発生する取組については、その取組への参画者から料金を徴収することがあります。
- 趣旨にご賛同いただける方は、所定の様式にて、お申し込みください。

どんな情報を共有するの？

市および参画会員の各種取組を共有。

以下に関する情報について共有します。

1. ワンストップ窓口としての森林所有者などの支援に関すること
2. 森林整備・木材活用に関すること
3. 関係主体間のネットワークの構築に関すること
4. 専門人材の派遣によるサポートに関すること
5. 構成員の技術向上、人材育成に関すること
6. その他、目的を達成するために必要なこと

(秘密情報に関する) 共創会議・専門部会場で配付された資料のうち「秘密情報」等、秘密であるとわかる記載がある資料とその内容については、秘密情報の提供者の許可なく、当該目的外の使用及び第三者に開示・漏洩してはならない

どんなメリットがあるの？

多様な主体・情報の共有・交流。 仕組みづくりに参画。

神戸市の森林に関わる川上（森林整備）・川中（製材・加工）・川下（空間活用・建築・家具等）の多様な主体との交流や森林に関する情報を共有。新しい次代を担う仕組みづくりに参画できます。

メリット

- 多業種の主体との交流、ネットワーク構築
- 市内の取組・情報を共有
- 森林フィールド・担い手とのマッチング
- 新しい仕組みづくりに参画

どんな場があるの？

会員が参画する「こうべ森と木の共創会議」「専門会議」と、神戸市・事務局の「コア会議」の3つの場があります。

こうべ
森と木の
共創会議

こうべ森と木の共創会議

- すべての会員をもって構成。
- 通常会は、年1回開催。
- その他、重要な意見交換、情報交換が必要な際に開催します。

専門会議

専門会議

- プロジェクトごと（自主事業含む）に適宜設置。
- 参画会員は都度、決定します。

コア会議

コア会議

- 神戸市各課及び事務局をもって構成。※他は適宜相談。
- プラットフォーム運営の基本指針を諮ります。

問い合わせ

神戸市

建設局防災課六甲保全担当

Mail

mt_rokko@office.city.kobe.lg.jp

URL

<https://www.city.kobe.lg.jp/a19183/bosai/shinrinseibi/shinrinkankyoujyoyozei.html>



こうべ森と木の プラットフォーム事務局

ひょうご森林林業協同組合連合会内

Mail

Kobemori-platform@hyogoforest.or.jp

TEL 078-599-7461

URL

<http://www.hyogoforest.or.jp/platform/index.html>

*プラットフォーム事務局は、ひょうご森林林業協同組合連合会、（公財）ひょうご環境創造協会、（株）地域計画建築研究所（アルパック）と共同運営をしています。

